

門句空の自序がある。京井簡屋庄兵衛坂。
キタバタケシヨウ 北畠庄 康正二年遣内
裏段錢並國役引付に、拾五貫文兩部筑前入道
殿賀州北畠庄段錢とある北畠庄の所在は明
らかでない。江沼郡大島村かと疑ふものもあ
るが確實とはいへぬ。

キタハマ 北濱 江沼郡では郷庄名を失う
たから、藩政時代ではかうした區分が用ひら
れた。北濱は北濱通ともいうて、極楽寺・片
野・黒崎・深田・橋立・小鹽・田尻・大島・千崎・鹽
濱・宮地・野田・篠原・潮津・小鹽辻・高尾・伊切
の十七ヶ村を含む名稱である。

キタハラ 北原 江沼郡熊坂の内の小字。
キタヒヨリ 北日和 句空庵悠平の編した
俳句集である。第一編は慶應二年秋に出て、
梅嶺の跋があり、第二編は慶應三年仲春に出
て、井里の序があり、第三編は明治四年の夏
に出て、金石の序がある。板元並びに不明。
悠平は後の雪袋である。

キタヒロヲカ 北廣岡 石川郡戸板郷に屬
する部落。
キタブクロ 北袋 河北郡湯涌郷に屬する
部落。

キタブクロジヨウ 北袋城 河北郡湯涌郷
北袋村口の北の山にある長一町半幅半町許の
地だとも、又は村間に在る十間に十二間許の
地だともいひ、又一説には北袋の上なる町村
の渡山にあつて御神造城といふものであると
もいふ。越中刀利村の賊魁左衛門之を築いた
と傳へる。

キタマ 北間 石川郡鞍月庄に屬する部落。
キタマヘセン 北前船 江沼郡橋立浦に根
據を置く船舶で、北は松前から南九州に至

り、關西は大坂を中心に瀬戸内一帯、關東は
奥州から江戸に及んで活躍した。蓋し北前船
は北廻船の訛であらうかといふ。

キタマルヤマ 北圓山 鳳至郡中町野郷の
部落圓山は、明治申之を北圓山と改稱した。
キタムラエジヨウ 北村惠乘 金澤宮多村
屋の二代目で、初め彦左衛門と稱した。壯年
より佛門に歸依し、四十歳の頃妻を離別し、
家を三代彦左衛門に譲り、西方寺に至り剃髮
して惠乘と稱し、泉野玉泉寺門前及び卯辰最
勝寺門内に草庵を結んで住んだ。惠乘傍ら和
歌を好み、仙洞御所に五十首の詠を上り、横山
山城守任風に百首の獨吟を呈した。後に近江
舟木村西光寺を再興し、また伊勢善光寺より
招かれて之に住したが、伽藍の破損甚しかつ
た爲、法華經・源氏物語等を講釋して資を得、
遂に再建の功を遂げ、享保五年四月十九日六
十五歳を以て遷化した。案するに、惠乘坊快
余の傳に、一名を石良といひ、連歌を以て能
順・淺井政右と共に當時の達人と稱せられ、
元祿十五年管公八百八十年忌に玉泉寺の首座に參
籠し、七晝夜に獨吟千句を聯れたとある。こ
の快余は即ち北村惠乘と同一人であらう。

キタムラサプロエモン 北村三郎右衛門
初名作内。尾張に於いて前田利家に仕へ、越
前府中に在るとき百石を受け、末森陣に功あ
り、遂に千二十石を領し、致仕の後茶甫と號
して三百二十石を受けた。系譜に三郎右衛門
を八兵衛に作り、又一に市右衛門としたもの
もある。

キタムラシヨウザン 北村松山 鳳至郡鶴
川の人。通稱爲次郎、諱は殿盛。寛政十二年
十村となり、文化七年御扶持人十村並に、文

政元年御扶持人十村に推し、天保十年退隱し、
安政六年十二月二十八歳で歿した。松
山學を鳥崎元愷に受け、又富山藩儒大野金一
郎の門に就き、隱栖の後鶴川詩社を設け、門
前の江尻翁松を聘してその共圓社に學を邑民
に授けしめた。

キタムラダイサク 北村大作 金澤の人。
關流の算法を和田耕藏に學び、寛政十年初秋
察額を卯辰山觀音院に奉納した。
キタムラハチベエ 北村八兵衛 前田利長
に仕へ、善父八兵衛の知行七百石を襲ぎ、次
いでその致仕料三百二十石を加へ、又屢増祿
して千五百石に至つたが、利長の伏見に於い
て櫻助助を成敗しようとした時、八兵衛その
任に當り、自ら過つて足指に傷つき、翌日歿
した。

キタムラヘイナイ 北村平内 鹿島郡三階
の人。幼名安伸。元祿十年父源五の後を繼い
で無組御扶持人となり、享保十年以降二三年
を費して漆澤の淵池を築造した。元文五年七
月七十七歳を以て歿。
キタムラヤシヤリヨウ 北村屋舎涼 金澤
の俳人。通稱興右衛門。世涼に次いで百鶴園
七代を襲席した。
キタムラヤヒコエモン 喜多村屋彦右衛門
金澤下堤町東側に居住した慶長以來の舊家
で、藥種商を營んだが、明治の初に退去した。
この家の始祖彦右衛門の父彦次右衛門は河北
郡笠野郷北村の人であつたが、彦右衛門の時
金澤に出て前田利家の用命を受け、二代彦左
衛門は剃髮して惠乘といふた。↓キタムラエ
ジヨウ 北村惠乘。
キタメンテン 北免田 羽咋郡鉾打郷に屬

する免田は、明治中改めて北免田と稱した。
キタモリモト 北森下 河北郡五ヶ庄に屬
する部落。
キタヤスタ 北安田 石川郡山島郷に屬す
る部落。猫橋・舟橋・高見・妙林・野々橋等の長
村がある。
キタヤスタホ 北安田保 石川郡に在つた。
三宮古記に北安田保が見え、今北安田村があ
る。

キタヤマ 北山 珠洲郡若山庄に屬する部
落。
キタヨコネ 北横根 河北郡井上庄に屬す
る部落。
キタヨシダ 北吉田 羽咋郡福松郷に屬す
る吉田は、明治中に至つて北吉田と改められ
た。

キタリユウガババ 北龍ヶ馬場 ↓リユウ
ガババ 龍ヶ馬場。
キタロクマイマチ 北六枚町 ↓ミナミロ
クマイマチ 南六枚町。
キタワキザキ 北脇崎 羽咋郡前濱の部落
西方にある岬。
キタヲカカツキ 喜多岡勝之 通稱傳藏。
安永元年養父半兵衛勝友の遺知の内百石を襲
ぎ、小松御馬廻に班したが、九年十二月不行
狀に依つて知行を召放され、越中五ヶ山に流
刑となつた。後天明五年宥されて新番に列し、
文政二年九月十三日歿した。
キタヲカハンベエ 喜多岡半兵衛 元和三
年前前田利常に仕へて七百石を領し、寛永四年
歿。子孫相繼いで藩に仕へる。
キタヲカハンベエ 北岡半兵衛 明和安永
の頃小松御馬廻であつた。剛力の名高く大文

政元年御扶持人十村に推し、天保十年退隱し、
安政六年十二月二十八歳で歿した。松
山學を鳥崎元愷に受け、又富山藩儒大野金一
郎の門に就き、隱栖の後鶴川詩社を設け、門
前の江尻翁松を聘してその共圓社に學を邑民
に授けしめた。

政元年御扶持人十村に推し、天保十年退隱し、
安政六年十二月二十八歳で歿した。松
山學を鳥崎元愷に受け、又富山藩儒大野金一
郎の門に就き、隱栖の後鶴川詩社を設け、門
前の江尻翁松を聘してその共圓社に學を邑民
に授けしめた。